



# 共 育

夏休みの終わりとともに、風が秋のおとずれを感じさせる頃となりました。新学期を迎え、子どもたちは今日も、あいさつレンジャーとして元気に「おはようございます。」の声を響かせています。

さて、連載しています「教育活性化プラン」の最後の柱、教職員の人材育成と、幼稚園・保育園・認定子ども園や中学校との連携についてご紹介します。

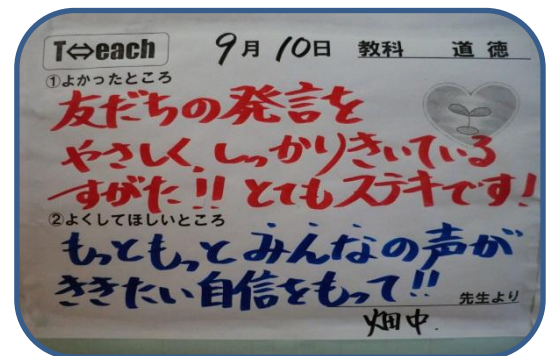
## (4) 人材育成・幼保小中の連携について

### 日常的な研究・研修の充実

- ① 先生同士がお互いの授業を参観しあい、その感想やアドバイスをカードに記して子どもたちにも紹介する取組を継続して行っています。

#### <実践のひとつ 「T⇄each」の教室掲示>

先生方が、お互いの授業を見合い、授業力の向上を目指しています。その際、「T⇄each」(ティーチ)と呼ばれるシートに、メッセージを書いて参観した教室の先生と子どもたちに贈ります。



- ② キーワード『5カツ』(下のア～オ)をテーマに職員研修を行っています。

ア：子どもたちが、学んだことを活用する力をつける授業づくり。

イ：一人一人の子どもが活躍できる場づくり。

ウ：縦割り班活動や、『そろえる』『きたえる』をキーワードにした取組で、体力アップや体づくりを活発化する。

エ：OJTタイム(職場で、先生同士の交流を通して指導力を高める研修)を週に1回設定し、活気ある職員集団を目指す。

オ：幼稚園や保育園、認定子ども園や中学校との連携を円滑にする。



職員室での研修の様子

## 幼保子ども園・小中の連携

①幼稚園・保育園から，中学校までの学びを円滑につなげるために，一人一人の子どもの学びや育ちを細かに見取り，情報交換の機会を大切にしています。



### <実践のひとつ>

**5年生ととき保育園年長さんとの交流>**  
8月7日に瑞穂小学校のプールで，とき保育園の年長さんと来年6年生になる子どもたちの交流会を行いました。例年，この活動を通して子ども同士のつながりが深まります。

②中学校でがんばっている先輩の姿を積極的に紹介して，中学校生活へのあこがれや希望が持てるようにしています。

### <実践のひとつ 全校>

瑞穂小卒業生が，中学校でがんばっている様子を映像で紹介し，感じたことを発表しました。

「自分も先輩のような中学生になりたい。」という声が聞かれました。



校長室だよりでは，4回にわたり本校が，力を入れている取組を紹介してきました。1学期は，「学力向上」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「人材育成と幼保小中の連携」の方向性が決まったところで終わりました。

2学期はこの4つの柱をバランスよく，しかも実りのあるものにしていかなければなりません。特に学力・体力の向上や，心を耕す教育を進めるためには，ご家庭の協力が不可欠です。本日より，2学期が始まりましたが，おそらく，家庭学習や読書活動を中心に，今まで以上にお家の方のご理解をいただき，歩みを進めていかなければなりません。どうか，本校が進める教育の趣旨を十分にお酌み取りいただき，なお一層のご協力をお願いいたします。